

総合的な学習の時間の実践

倶知安町

地域の名産から地域のよさを知る

総合的な学習
5年

『めざせ！倶知安のジャガイモ博士！』

<http://www.fan.hi-ho.ne.jp/douseiren/>

この指導案は、上記のHPよりダウンロードすることができます

単元の概要 と 単元構成

倶知安町は全国でも有数のジャガイモの名産地です。そこで、倶知安の主要な農産物であるジャガイモを調べることを通して、自分たちの住む町の人や地域がますます好きになるようになってもらいたいとの願いから、この単元を設定しました。

そのために栽培活動やジャガイモの食べ比べ、農場の見学や聞き取り調査などの体験活動を中心に展開させていきました。テーマとゴールが明確なため、どの子どもも楽しく学習できました。

学習活動の流れ（30時間）

テーマとゴールを設定しよう（3）

- ・ジャガイモのことを案外知らないんだね
- ・ジャガイモ博士になりたい
- ・何を調べる
- ・調べたことをまとめて「愛食運動壁新聞コンクール」に出品しよう

テーマとゴールを明確にすることで、子どもたちに活動の見通しを持たせます。

調べよう（19）

- ・実際に栽培しよう
- ・農家の人に聞いてみよう
- ・農場を見学しよう
- ・収穫しよう
- ・食べ比べてみよう
- ・ジャガイモ大辞典をつくろう

子どもたちが自分の諸感覚を使って調べていくことができるように、体験活動をたくさん設定しました。

発表しよう（8）

- ・調べたことや体験したことを新聞形式でまとめよう
- ・お世話になった方々を招いて発表会をしよう

男爵いもを名産とする倶知安町。地域の主要な農産物で、カレーライスや肉じゃがの材料になるジャガイモを素材に、町を身近にしていきます。



6種類のジャガイモをくらべて

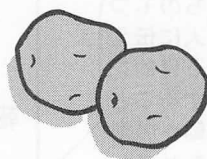
教材・活動の Point!

1. 自分たちで育てよう

調査の対象は、じゃがいもです。自分たちで6種類のジャガイモを栽培しました。畑の世話、観察、成長の様子を伝える新聞の発行と係を決めての活動です。ジャガイモは比較的育てやすい野菜です。実際に育てることで、地域の人とのかかわりも生まれました。

2. 実際に比べよう

一口にジャガイモといっても、いろいろあります。6種類のジャガイモを、実際に見比べたり、さわったり、食べ比べたりしました。比較することで、味、形、色、特性、使いやすい料理など、それぞれの違いを実感することができます。



3. 壁新聞で学びを表現

実際に育てることと、それを伝える活動を同時に扱い、言語活動を充実させました。新聞を作るためには、自分の活動を整理することが必要になります。農家の方ともかわり情報を得ることで、地域の様子も知ることができ、学習を深めることができました。

